

歴民だより

令和2年度 4月号 No.78

郷土の先人紹介

放浪の文化人

みのむしさんじん
蓑虫山人



明治28年秋田県で撮影



蓑虫山人顕彰碑（東結上村）

蓑虫山人の本名は、^{と き げ ん ご}土岐源吾です。全国に誇る文化人で、美濃国守護大名でもあった^{と き}土岐氏の血筋をひいており、幕末に結村で生まれました。幼い時、お寺に小僧として入っていましたが、14歳のときに母を亡くし、寺を出て放浪の旅に出ました。

以後50年間、全国を旅歩き、絵画に親しみ、特色のある多くの作品を残しました。また、考古学にも関心があり、土器、石器など遺物の発掘や採取をしました。さらに、卓越した造園家でもあった山人は、東北地方に数々の庭園を残し、今なお親しまれています。

蓑虫山人と名乗ったのは、21歳の時です。昆虫の蓑虫は、自分のように雨や風にうたれながらも辛抱しながら生きており、まるで仙人のように世の中を見ていると思ったからです。また、故郷の美濃を思っただけの名乗りと思われず。

地位や名誉にこだわらず、自然の中に身をまかせ、自由に生き抜いた蓑虫山人の人生観が今、全国誌等で紹介され注目が集まっています。

今年は没後120年にあたり、秋田県、青森県、そして安八町でも展示会を予定しています。

ハートピア安八
- 歴史民俗資料館 -

住所：岐阜県安八郡安八町氷取30
お問合せ：0584-63-1515